

動物実験に関する自己点検・評価報告書

東京農工大学

2026 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程の整備状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を整備している。 ☐ 機関内規程を整備しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を整備していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京農工大学動物実験等に関する規程（平成 19 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂）
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 「国立大学法人動物実験施設協議会」で公開している機関内規程の雛形を元に、学内規程を定め、基本指針及び飼養保管基準に適合している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会の設置状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京農工大学動物実験等に関する規程（平成 19 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・東京農工大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 学内規程に基づき、基本方針の条件を満たした委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京農工大学動物実験等に関する規程（平成 19 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・様式 1 動物実験計画書 ・様式 2 動物実験結果報告書 ・様式 3 動物実験計画変更・追加申請書 ・様式 8 動物実験自己点検票 ・東京農工大学における動物実験実施体制図 ・動物実験手続き案内 ・審査のチェックポイント
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和 8 年度より使用する動物実験計画書の申請様式を見直した。順化期間を明記、安楽死の方法欄の選択肢を追加し、審査がより適切に行えるように改訂した。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京農工大学動物実験等に関する規程（平成 19 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・国立大学法人東京農工大学遺伝子組換え生物安全管理規程(平成 16 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂) ・国立大学法人東京農工大学病原性微生物等安全管理規程（平成 18 年 9 月 25 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・国立大学法人東京農工大学家畜伝染病発生予防規程（平成 23 年 11 月 21 日制定、令和 6 年 4 月 1 日改訂） ・国立大学法人東京農工大学外来生物安全管理規程（平成 18 年 9 月 25 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・国立大学法人東京農工大学安全衛生管理規程（平成 16 年 4 月 7 日制定、令和 8 年 4 月 1 日改訂）

・国立大学法人東京農工大学放射線障害予防細則（平成 16 年 4 月 7 日制定、令和 7 年 8 月 1 日改訂） ・国立大学東京農工大学安全マニュアル（府中キャンパス・小金井キャンパス） ・国立大学法人東京農工大学危機管理基本マニュアル
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 各種の安全管理に関するルールが適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した、適正な飼養保管の体制である。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京農工大学動物実験等に関する規程（平成 19 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・様式 4 飼養保管施設設置承認申請書 ・様式 5 実験室設置承認申請書 ・様式 6 施設等廃止届 ・様式 7 実験動物飼養保管施設報告届 ・様式 9 実験動物飼養保管の自己点検票 ・各飼養保管施設の飼養保管の標準操作手順書
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 規程に基づき、飼養保管施設、実験室が設置及び管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和 7 年第 1 回動物実験委員会議事要旨 - 令和 7 年第 2 回動物実験委員会議事要旨 - 令和 7 年第 3 回動物実験委員会議事要旨 - 令和 7 年第 4 回動物実験委員会議事要旨 ・令和 7 年度 動物実験委員会委員名簿 ・令和 7 年度 動物実験計画書・審査
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 令和 7 年度は委員会を 4 回開催し、実験動物管理者向けの教育訓練の開催について検討し、動物実験計画書に記載する安楽死法および審査要領の見直しを行った。 令和 8 年度の動物実験計画立案時期までに動物実験計画書様式・審査要領の改訂を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☒ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和 7 年度動物実験計画書 ・令和 7 年度動物実験結果報告書 ・令和 7 年度動物実験計画・変更承認申請書 ・令和 7 年度動物実験自己点検票
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 令和 7 年度は動物実験結果報告書、動物実験自己点検票について、承認された全ての動物実験計画書において提出されたが、一部の計画において、使用動物数の変更申請が行われず実験が実施されたことが、動物実験結果報告により判明した。

4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験委員会より当該動物実験責任者宛てに指導文書を発出する。
--

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験を適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和 7 年度動物実験計画書 ・ 令和 7 年度動物実験結果報告書 ・ 令和 7 年度動物実験計画・変更承認申請書 ・ 令和 7 年度動物実験自己点検票
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験計画書にて、特殊実験区分（感染実験、遺伝子組換え動物使用実験、放射性同位元素・放射線使用実験、化学発癌・重金属実験）を記載させており、動物実験委員会で審査前に関連委員会の手続き状況の確認を行っている。また、適宜、飼養保管施設の巡視を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 各飼養保管施設の飼養保管の標準操作手順書 ・ 実験動物飼養保管施設報告届 ・ 実験動物飼養保管自己点検票

3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 飼養保管施設の定期の点検を行う中で、特に問題となる施設は認められなかった。 飼養保管の標準操作手順書の改訂を行うとともに、実験動物管理者および実験動物管理者を介した動物実験実施者並びに飼養者への指導に実効性を持たせるため、従来の教育訓練に加え、実験動物管理者対象の研修会を実施した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に維持管理している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認申請書 ・実験室設置承認申請書 ・施設等廃止届
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 委員会による定期的に飼養保管施設の巡回、飼養保管状況の改善指導を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・令和 7 年度動物実験に関する教育訓練資料

・令和 7 年度教育訓練受講者名簿
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 令和 7 年度は、Google Classroom による教育訓練の受講を随時開催した。日本動物実験学会主催の実験動物管理者等研修会への動物実験委員会委員の参加等により情報収集や教育訓練の充実に努めている。 また、令和 8 年度向け実験責任者・実験実施者・飼養者向け教育訓練と実験動物管理者向け研修会を対面で開催した。
4) 改善の方針、達成予定時期 今後も最新の情報を入手しつつ、動物実験委員会において、教育訓練内容の確認・見直しを実施していく。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京農工大学動物実験等に関する規程（平成 19 年 4 月 1 日制定、令和 7 年 7 月 1 日改訂） ・動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） ・学内規程 ・自己点検・評価報告書 ・その他の情報（計画書の承認数、教育訓練の実績 等）
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし
